

小田急沿線 自然ふれあい歩道

小田急沿線自然ふれあい歩道とは、
小田急沿線に点在する身近な自然や文化財などを紹介する
環境活動の一つです。コースは全70コース。
各コースの最寄り駅でチラシを配布しています。

桜ヶ丘駅～高座渋谷駅コース

サクラで有名な引地川と花の寺として有名な常泉寺を巡るコースです。

コース内の主なみどころ



【① 引地川】

大和市内の「泉の森公園」にある池を水源とし、藤沢市の中央を縦断して、相模湾に注ぐ河川です。名前の由来は「開墾のために引いたから」「大雨のたびに土を押し出したから」「地名から」などいろいろな説があります。



【② 歩道沿いの植物1】

川沿いの歩道にはヒガンバナが植栽され、秋には散歩道を真っ赤に彩ります。ヒガンバナには毒があることから、子供がそれに触らないように、「採ってくと家が火事になる」といわれるようになったそうです。



【③ 千本桜散歩道】

兩岸約1.5kmにわたり桜並木があり、春には多くの見物客でにぎわいます。ソメイヨシノなどの代表的なサクラが終わり、葉桜に衣替えした後は八重桜が咲き始めます。紅葉の時期に、青空を背景に色付いた葉を眺めるのも一興です。



【④ 歩道沿いの植物2】

千本桜散歩道沿いには、サクラやヒガンバナ以外にもシャガやヒメヒオウギズイセンなどのアヤメの仲間、ユキノシタ、イモカタバミなどの草花、セイヨウアジサイなどの花木といったさまざまな花々が植えられています。



【⑤ 田中八幡宮】

9月の祭礼にはおはやしとともに獅子舞やおかめ、ひょっとこ、きつねの踊りが披露されます。江戸時代に成立した庶民の剣法・天然理心流の門人の名が記された奉納額は、大和市の重要文化財です。



【⑥ 常泉寺】

「花のお寺」ともいわれており、春の彼岸ごろ、参道の両側や境内を赤、白、黄に彩る250本のミツマタは見事で、遠方からも多くの人が見物に訪れます。秋には境内に赤いヒガンバナに交じって、珍しい白いヒガンバナが咲きます。

スマートフォンをお持ちなら…

小田急沿線自然ふれあい歩道アプリを無料配信中!

スマートフォンのGPS機能を使って、現在位置の確認も可能。
お散歩のお供に、便利なアプリをご活用ください。



列車運行状況および
各駅時刻表はコチラから

小田急電鉄

検索

www.odakyu.jp



小田急沿線 自然ふれあい歩道 コースマップ



ルート 合計約3.5km

メインルート 桜ヶ丘駅 700m、千本桜(引地川) 1700m、神明橋 270m、常泉寺 680m、高座渋谷駅

- 凡例**
- メインルート
 - サブルート
 - 道路
 - 鉄道
 - 高速道路
 - 川・池
 - 緑地
 - 畑
 - 公園・果樹園
 - 広場・運動場など
 - 水田
 - 建物
 - ① みどころ みどころポイント
 - Point... 遊びの小川
 - Point... ワンポイント解説
 - ビューポイント
 - 信号機
 - カーブミラー
 - 神社
 - 寺
 - 看板・道標
 - あずまや

